

2014年5月13日開催 第588回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長 上田理恵子委員、神谷徹委員、佐藤卓己委員、中野健二郎委員、東野博昭委員、若菜英晴委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役、木田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
柚山ラジオ局長、岡墻プロデューサー

◆ 審議事項

ラジオ番組「松井愛のすこ〜し愛して」(4月18日放送)について意見交換した。

各委員の主な意見は次の通り。

- * 松井愛の冠番組ということで、もっとくだけた感じかと思っていたが、ちょっとかたい印象を受けた。もっとぶっちゃけた魅力満開を期待していたのに、「気を使い、考えながら」という空気を感じた。
トークの中身に関する指示や、流れについての舵取りは、本来は、ディレクターがすること。生放送であれば特に大事なこと。
- * この時間帯に番組を聞いている人たちは、働く女性がオーディエンスなのかどうかというのが気になった。
- * スタジオは盛り上がり感がすごくあるが、登場する方のプロフィールとか簡単な紹介がもうちょっとあってもいいんじゃないのか。
- * パートナーの意見にすごく遠慮して、本音をぶつけ合うという本来の目的は達せられてなく、何となくあなあになっている。本質的なところに疑問を持つところがあると、もっと広がると思う。
- * リスナーはながら視聴しているので、いろんなアイテムを多元化し、まとめるべきじゃない、自分の興味のあるものだけ聞いたらいい。パーソナリティーである松井さんがもう少し意見を言ってもいいと思う。
- * 働く女性の目線であるところが関係していると思うが、非常にいい構成でできていたと思う。せっかくの働く女性の目線であれば、働く女性に届ける仕組を何とかできないか。
- * 全体として温かみがあって、やや力が入り過ぎていたような感じのところもあるけれども、だんだん慣れてくればよくなる。もっと聞きやすくなると思う。
- * 入学式の話は2人とも自分のリアルな体験を言っているところが非常にいい。評論家ではなくて、リアルな自分の目線で自分の持ち味を出していくところよかった。テレビの場合は通販番組とはっきりわかるが、ラジオの場合何となく自然に入ってくる。だから、かえって聞いて損したみたいな感じを受けてしまった。

*ラジオ番組は、聞く時間帯、その人の暮らしぶりが直接影響する。松井アナのよさを引き出しつつ、働く女性向けというのをあんまり意識し過ぎるのもどうなのかと思う。

以上